



ご使用上のご注意事項



必ずお読み下さい！

●Vベルト交換作業を熟知された方がご利用してください。

- ・交換作業工程、作業リスクをご理解いただいた上でご使用下さい。
- Vベルト、プーリー、当製品が破損するおそれがあります。
- また事故・大ケガに繋がります。
- 機械は停止して作業を行って下さい。
- 作業中、プーリーが勝手に回らないように気をつけてください。

●無理に使用しないで下さい。

- ・能力を超えての使用や本来の目的以外の使用は製品、使用対象器機の損傷だけでなく、事故・ケガの原因となります。

●分解・改造は行わないで下さい。

- ・分解・改造は事故・ケガの原因となります。

●ご使用前に異常がないか点検して下さい。

- ・ご使用前に、製品及び使用対象器機に亀裂、変形、破損がないか、点検を行ってください。
- 異常がみられる場合は使用しないで下さい。
- 事故・ケガの原因となります。

●作業に最適な環境を維持して下さい。

- ・使用するときは作業場を綺麗な状態である事を確認し、作業に適切な服装で使用してください。また使用後は適切な保管場所に置いてください。
- 日頃の点検の際に定期的にホームページにて最新情報を確認して下さい。

株式会社 エスコ 本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

べるとれーる

●製品型番:EA501KK

特許第5931237号

Vベルト着脱工具取扱説明書

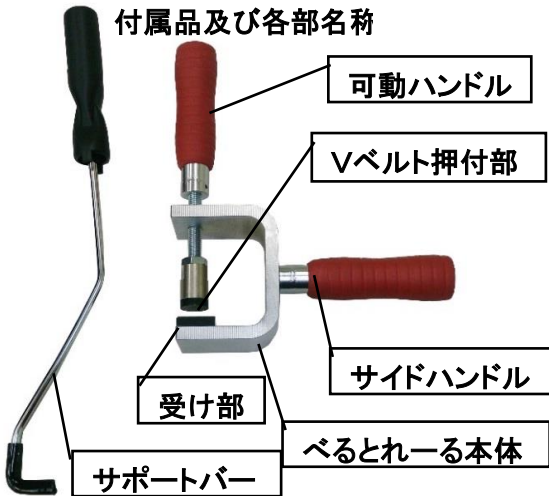
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。



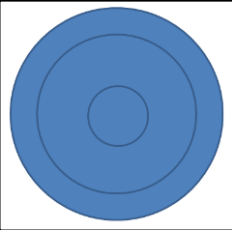
仕様

サイズ	本体:74(W)×50(D)×219~256(H)mm
	サイドハンドル:32φ×113mm
	サポートバー:300mm
材質	本体:スチール ハンドルグリップ:NBR
	Vベルト押付部:ウレタン
	サポートバー:スチール ハンドル:プラスチック
使用可能Vベルト	規格:A・B・C ※Cタイプは使用が難しい場合があります。
	Vプーリー溝数:A・B・C片側2本 最大4本
	※但しCタイプの2本目以降は着脱方法が異なる

付属品及び各部名称



べるとれーる適用プーリーの一例


○スポーク型

○リム付プーリー

X 側面フラット型

X 噛み込めない

- ・プーリーの内径φ90mm以上
- ・プーリーの軸外径とプーリー内径に20mm以上のすき間があること

▲ 噛込が浅い

- ・リム付プーリーのオフセット深さ・・・25mm以上
- ※アタッチメントで解決できる場合あり

・プーリー逆サイド(機械側)からべるとれーるを取り付ける場合はプーリーと機械に80mm以上のすき間が必要

・噛込厚み30mm以内

取り付け				取り付外し			
Vベルトタイプ	1本目	2本目	3本目	Vベルトタイプ	1本目	2本目	3本目
A	標準	標準	2本目からズラシ(押出) ※1	A	標準	標準	2本目へズラシ(引寄) ※1
B	標準	標準	2本目からズラシ(押出) ※1	B	標準	標準	2本目へズラシ(引寄) ※1
C ※2	標準	1本目からズラシ(押出)	2本目からズラシ(押出)	C ※2	標準	1本目へズラシ(引寄)	2本目へズラシ(引寄)

※1 V溝が3本の場合機械側からの着脱も可能です。但し、機械側に本体を取り付けるスペースが必要です。

※2 Cサイズのベルトには使用が難しい場合があります。A、Bをメインでご利用ください。

※1 V溝が3本の場合機械側からの着脱も可能です。但し、機械側に本体を取り付けるスペースが必要です。

※2 Cサイズのベルトには環境により使用が難しい場合があります。A、Bをメインでご利用ください。

このたびはべるとれーるをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

当製品はVベルトを安全に交換する為の、補助工具です。出来る限りの環境で試験は行っておりますが現場環境、お使いの使用プーリーによっては適合しない可能性も御座いますので必ず、説明書をご確認頂き、御利用頂けます様お願い致します。

また、弊社ホームページ内で動画も随時アップ致しておりますので合わせてご利用下さい。

http://www.esco-net.com 動画:エスコサイト内、商品情報「EA501KK」検索
ご意見・お問合せ:サイト内お問合せより
右のQRコードで商品ページ・動画もご覧いただけます。



1



使用方法

なるべくサイズの大きな方のプーリーで作業して下さい。

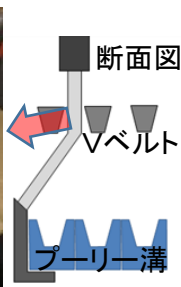
■1. Vベルト取り外し〔標準〕■

※VベルトA・Bの2本目まで及びCの1本目まで



①べるとれーる本体で対象のV溝を挟み込みます。可動ハンドルを回し、べるとれーるがぐらつかない程度に固定して下さい。

②取り外すベルトの間に上からサポートバーを入れ、プーリーに先端を引っ掛けます。①のベルト固定部分と距離を取って下さい。A・B型のVベルトであれば2本目まで一気に取り外し可能です。



③サポートバーでVベルトを外側に引き、べるとれーるの可動ハンドルをしっかり握ります。



④そのままの状態ではべるとれーるのハンドルを持ちながらゆっくりプーリーを1/4回転強回します。回転しつつサポートバーとべるとれーるの距離を写真の様に縮めていくのがコツです。



⑤サポートバーを外しべるとれーるを更に1/4回転させれば取り外し完了です。

■2. Vベルト取り付け〔標準〕■

※VベルトA・Bの2本目まで及びCの1本目まで



①取り付けるVベルトをプーリーに引っ掛け指で動かない様に押さえます。

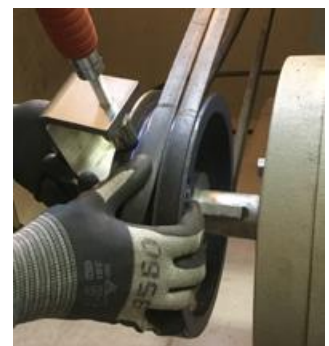
②取り外し作業と同じ要領でべるとれーるで固定します。VベルトをV溝にはめ込んで下さい。

③べるとれーるのハンドルをゆっくり回します。Vベルトが溝に嵌っていきます。

④半回転ほどすればVベルトが完全に溝に入り込みます。(少し衝撃があります。)

■3. アタッチメントを使う(取付のみ)

※プーリーへの噛み込みが十分でない場合 A. Bタイプ



①べるとれーるの噛み込みが浅い場合、状況によっては使用できます。

②アタッチメントを逆側から引っ掛けてベルトを押し付けます。

③アタッチメントの上からべるとれーるでVベルトを固定します。

④ここから先は2. ③からの作業と同じです。

※アタッチメントはL字金具などが最適です。

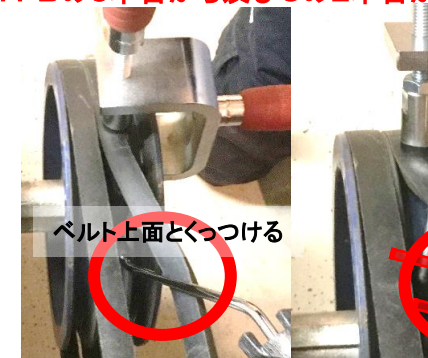
エスコでも取り扱い御座います。(EA951EA-163A～165Aなど〔別売〕)

■4. 機械側からのVベルト着脱■

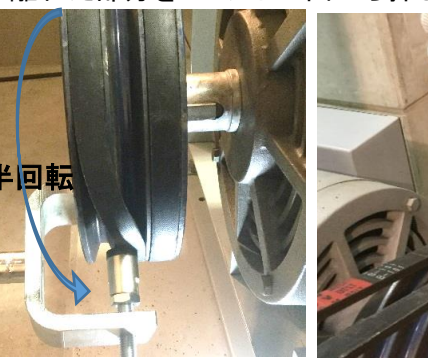


①べるとれーるのサイドハンドル②機械とプーリーの間を通します。③べるとれーるで逆側からVベルト着脱が行えます。

■5. 隣のV溝にずらす(引き寄せ)■※VベルトA・Bの3本目から及びCの2本目から



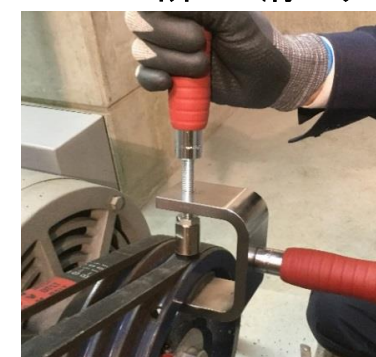
①べるとれーるで、V溝を手前②ずらしたいVベルトの奥からサポートバーを差し込みます。隣の溝へ押し付けます。この時なるべくベルト固定部からバー先端をV溝に入れます。離れた部分をVベルト上面から押し付けるとスムーズです。



④サポートバーで③の通り押さえつけながら、べるとれーるでプーリーを回転させます。右上の写真のあたりでサポートバーを抜き取ります。

⑤プーリーを半回転程で、べるとれーるを取り外します。その後、べるとれーるを元の固定位置に取り付け直し更に半回転させると隣のV溝に完全にずらす事ができます。

■6. 隣のV溝にずらす(押し出し)■※VベルトA・Bの3本目から及びCの2本目から



①べるとれーるでV溝を奥にずらしたいVベルトを固定をします。

②ずらしたいVベルトの手前からサポートバーを差し込みます。バー先端とV溝に入れます。サポートバーをプーリー奥に寝かし、Vベルトを隣の溝へ押し付けます。ここから先は5. ④からの作業と同様です。